

ひのもと

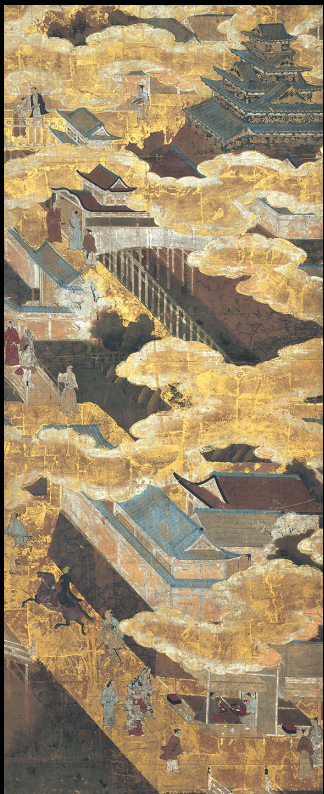
あの時、日本には真田信繁がいた

400年の時を経た現在も「真田幸村」の名で語り継がれる武将・真田信繁——戦場での決死の覚悟をあらわした「不惜身命」の旗印「六連(文)銭」に最もふさわしい人物です。

若き信繁は天正13(1585)年、築城間もない上田城を舞台に徳川勢との戦いに挑んだ父・真田昌幸の第一次上田合戦の知略を見て育ちます。天下分け目の関ヶ原の戦い(慶長5(1600)年)では、兄・信幸(後に信之)と袂を分ち、父とともに西軍に参加。徳川秀忠軍を上田城に引き留め、苦杯を舐めさせました。15年後、信繁は大坂の陣で再び歴史の舞台に姿を現します。冬の陣で大坂城南東の最前線に出丸「真田丸」を築き、攻め寄せた徳川勢に大きな損害を与えたのです。そして、続く夏の陣では徳川家康の本陣に迫り、後に「真田日本一の兵」と讃えられる激戦のうちにその生涯を閉じました。

本展覧会はNHK大河ドラマ「真田丸」と連動し、真田信繁ゆかりの品や、同時代の貴重な歴史資料およそ140件を通して、信繁の人間像と彼が生きた時代の実像に迫ります。

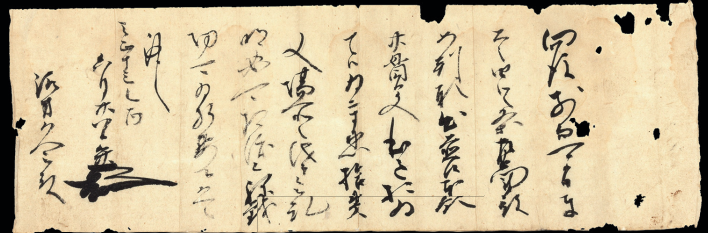
伝信繁所用《鉄二枚胴具足》など、上田会場だけでしか見られない資料40件も必見です。



《大坂図屏風(部分)》 桃山時代 / 大阪城天守閣
天下統一を目前にした豊田秀吉の築いた大坂城。
信繁が見たのはこの金箔輝く眩いばかりの大城郭だった。



《血染めの陣羽織》
戦国時代 / 信綱寺
長篠の戦いで落命した
信繁の叔父・真田信綱の首を、
家臣がこの陣羽織に包んで
真田の里へ持ち帰ったと伝わる。



《弁(信繁)知行宛行状 願方久三宛(部分)》 天正13(1585)年 / 個人蔵
元服前の信繁が幼名「弁丸」の名で家臣に領地を保証した現存最古の書状。



《真田昌幸画像(部分)》
江戸時代 / 高野山 蓮華定院
豊田秀吉に「表裏比興の者」と言わしめた智将。
信繁の父。

《真田信繁(幸村)画像(部分)》
江戸時代 / 高野山 蓮華定院
信繁の肖像画は多くの模写が伝えられているが、
その原本と考えられる資料。

※会期中、一部展示替えがあります。予めご了承ください。

関連イベント

記念講演会【第1回】
「真田弁丸をめぐる」
日 時=7月10日(日) 13:30~15:00 会場=1階 多目的ルーム
講 師=寺島隆史 氏(元上田市立博物館長・上田女子短期大学非常勤講師)
定 員=80名(先着順。本展チケットの半券をご提示ください。)

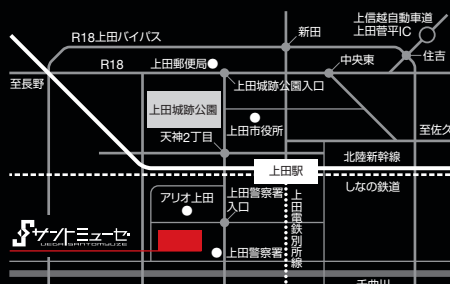
記念講演会【第2回】
「真田幸村と大坂の陣」
日 時=8月11日(木・祝) 13:30~15:00 会場=1階 小ホール
講 師=北川 央 氏(大阪城天守閣館長)
定 員=280名(先着順。本展チケットの半券をご提示ください。)

真夏の夜の特別観覧

「真田丸ナイトミュージアム」
日 時=7月29日(金)・8月19日(金)
開館時間=21:00まで延長します(最終入館20:00まで)

「真田丸ナイトミュージアム・プレミアム」
本展の企画を担当した学芸員による展示解説を聞きながら、
週末の特別なひとときをお過ごしください。
日 時=7月22日(金) 18:30~21:00【第1回】
8月12日(金) 18:30~21:00【第2回】
定 員=各回20人
※詳細はサントミュージーゼホームページでお知らせします。

<https://www.santomyuze.com/>



- ◎北陸新幹線 上田駅から徒歩約7分
- ◎上信越自動車道 上田菅平ICから約15分
- ◎上田城跡公園・信州上田真田丸大河ドラマ館から徒歩約10分

サントミュージーゼ
上田市立美術館

長野県上田市天神3-15-15 TEL.0268-27-2300